	測定地点コード		08000080	09000570	09000700	09522740
	採泥地点名		八幡川河口	戸坂上水道取水口	旭橋	舟入橋
	採泥年月日 採泥時分		平成26年10月2日	平成26年10月2日	平成26年10月3日	平成26年10月3日
			8:35	10:00	9:19	10:49
	調査種類		泥質検査	泥質検査	泥質検査	泥質検査
	測定機関		広島市	広島市	広島市	広島市
	採泥機関		東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱
	分析機関		東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱
	天候		くもり	くもり	晴	晴
	L. New	m	0.7	0.7	1.7	1.6
	気温	°C	21.5	21.8	23.3	26.8
左口	表層水温	°C	20.9	21.3	22.4	21.5
性 兀	泥温	°C	23.1	23.0	24.2	23.9
炽	採取法		エクマンバージ法	エクマンバージ法	エクマンバージ法	エクマンバージ法
項目	採取層		0~5cm未満	0~5cm未満	0~5cm未満	0~5cm未満
	外観		砂	砂	砂	砂
	色相		褐色	灰色	灰色	褐色
	臭気1		なし	なし	なし	なし
	臭気2					
	рН		7.6	6.9	7.4	7.2
I —		mg/g	1.2	8.5	1.1	15
般			0.7	3.2	1.4	5.8
項		mg/g	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
		%	13.9	31.5	25.8	40.8
		mV	-14	50	-26	-57
	銅	$\mu\mathrm{g/g}$	8.5	21	6.2	58
特	亜鉛	$\mu g/g$	42	57	30	130
殊	鉄	$\mu g/g$	6300	9200	4900	17000
項	マンガン	$\mu g/g$	270	330	150	370
	クロム	$\mu g/g$		10	3	12
	ニッケル	$\mu g/g$				
	カドミウム	μ g/g	0.08	0.27	0.13	0.60
	鉛	μg/g		11	5.3	21
健康	六価クロム	$\mu\mathrm{g/g}$	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
尿	砒素	$\mu\mathrm{g/g}$	1.1	11	3.0	23
出出	総水銀	$\mu g/g$	<0.01	0.01	<0.01	0.03
l H	アルキル水銀	μ g/g	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	PCB	$\mu\mathrm{g/g}$	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	アンモニア態窒素	$\mu g/g$				
そ	亜硝酸態窒素	$\mu g/g$				
の	硝酸態窒素	$\mu g/g$				
他	有機態窒素	μ g/g				
の	全窒素	$\mu\mathrm{g/g}$	86	580	160	890
	燐酸態燐	$\mu\mathrm{g/g}$				
目	全燐	μ g/g	57	140	110	340
		mg/g				

	測定地点コード		09625870	09726920	09726940	09623780
	採泥地点名 採泥年月日 採泥時分		御幸橋	仁保橋	向洋入江	昭和大橋
			平成26年10月3日	平成26年10月3日	平成26年10月3日	平成26年10月3日
			12:00	12:50	13:14	10:05
	調査種類		泥質検査	泥質検査	泥質検査	泥質検査
	測定機関		<u> </u>	広島市	広島市	広島市
	採泥機関		東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱
	分析機関		東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱
	天候		晴	晴	晴	晴
	水深	m	2.3	2.6	10.0	1.3
	<u> </u>	°C	27.8	28.5	27.0	26.8
	表層水温	°C	24.0	24.5	24.5	22.1
准几	泥温	°C	24.0	23.9	23.3	24.0
測	採取法		<u>エクマンバージ法</u>	エクマンバージ法	エクマンバージ法	エクマンバージ法
項	採取層		<u>ー/、// / / / / / / / / / / / / / / / / / </u>	0~5cm未満	0~5cm未満	0~5cm未満
目	外観		シルト	砂	シルト	砂
	<u> </u>		<u> </u>	<u>下</u> 灰色	黒色	黒色
	臭気1		なし	なし	微	微
	臭気2		<u>, 60</u>	140	硫化水素臭	硫化水素臭
	pH		7.1	7.6	7.6	7.6
l_	COD	mg/g	18	4.2	44	12
中心	強熱減量	%	6.6	1.7	12.5	3.3
话	総硫化物	mg/g	<0.1	<0.1	0.6	<0.1
	含水率	%	46.2	27.1	68.8	34.0
	酸化還元電位	mV	-42	-97	-107	-161
	銅	$\mu g/g$		17	98	24
	亜鉛	$\mu g/g$		59	350	73
殊	<u> </u>		14000	5100	15000	7200
項	マンガン	$\mu g/g$		170	430	210
	クロム	$\mu g/g$	10	5	37	6
	ニッケル	$\mu g/g$				
	カドミウム	$\mu g/g$	0.87	0.08	0.98	0.26
)	鉛	$\mu g/g$	16	6.1	39	9.7
煡	<u>知</u> 六価クロム	$\mu g/g$	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
康	ᄺᆂ	$\mu g/g$		4.7	15	6.3
項	収系 総水銀 アルキル水銀	$\mu g/g$	0.05	0.02	0.17	0.02
目	アルキル水銀	$\mu g/g$	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	PCB	$\mu g/g$		<0.01	<0.01	<0.01
	アンモニア態窒素 μ g/g					
マ	<u> </u>	$\mu g/g$				
က်	硝酸態窒素	$\mu g/g$				
	有機態窒素	$\mu g/g$				
	全窒素	$\mu g/g$	1100	280	2800	580
	工工机 燐酸態燐	$\mu g/g$				1555
自	全燐	$\mu g/g$	370	150	580	200
	全有機炭素	mg/g	· · ·	1.55		
Щ	ᅩᆸᄶᄶᅑ	יייט/ אַ		l	l	<u>l</u>

	測定地点コード		09624820	10000100	32900000
	採泥地点名 採泥年月日		南大橋	日浦橋	金輪島西
-			平成26年10月3日	平成26年10月2日	平成26年10月3日
-			11:37	•	
				11:30	13:31
-	調査種類		泥質検査	泥質検査	泥質検査
-	測定機関		広島市	広島市	広島市
	採泥機関		東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱
	分析機関		東和環境科学㈱	東和環境科学㈱	東和環境科学㈱
	天候		晴	くもり	晴
	水深	m	1.5	0.6	13.3
	気温	°C	28.3	22.5	26.2
観	表層水温	°C	22.5	22.0	25.1
測	泥温	$^{\circ}$	23.2	21.3	23.9
	採取法		エクマンバージ法	エクマンバージ法	エクマンバージ法
項目	採取層		0~5cm未満	0~5cm未満	0~5cm未満
l	外観		砂	砂	シルト
	色相		灰色	褐色	黒色
	臭気1		なし	なし	なし
	臭気2		0.0	0.0	5.0
	pH		7.8	7.4	7.6
I _	COD	mg/g	1.2	0.5	39
血几	強熱減量	%	0.9	0.4	12.5
項	総硫化物	mg/g	<0.1	<0.1	0.2
目目	含水率	πg/ g %	24.0	18.7	76.0
l =	酸化還元電位		24.0 −11		
_		mV		1	-75
44	銅	$\mu g/g$	6.4	3.8	75
	亜鉛	$\mu g/g$	31	25	240
殊	鉄	$\mu\mathrm{g/g}$		4100	16000
項	マンガン	$\mu\mathrm{g/g}$	190	120	380
目	クロム	$\mu\mathrm{g/g}$	2	<1	18
	ニッケル	$\mu g/g$			
	カドミウム	μ g/g		<0.05	0.68
健	鉛	μ g/g		1.4	22
康	六価クロム	μ g/g	<0.5	<0.5	<0.5
不古	砒素	μ g/g	3.4	1.4	10
項目	総水銀	μ g/g	<0.01	<0.01	0.19
H	アルキル水銀	$\mu g/g$		<0.01	<0.01
	PCB	$\mu g/g$	<0.01	<0.01	<0.01
	アンモニア態窒素				
そ	<u>,,心里,</u> 亜硝酸態窒素	$\mu g/g$			
	硝酸態窒素	$\mu g/g$			
	有機態窒素	$\mu g/g$			
	全窒素	$\mu g/g$	130	67	2800
	<u> </u>	$\mu g/g$			
	全燐	$\mu g/g$ $\mu g/g$		35	620
ľ	全有機炭素		01	00	020
Щ	工行版火米	mg/g			

	測定地点コード		13000100	14000230	33000005	33000007
	採泥地点名 採泥年月日 採泥時分 調査種類		<u>山手橋</u>	真光寺橋	呉地先33-5	呉地先33-7
			平成26年11月12日	平成26年11月12日	平成26年11月10日	平成26年11月10日
			13:30	09:56	12:10	12:02
			泥質検査	泥質検査	泥質検査	泥質検査
	測定機関		<u>泥货快量</u> 呉市	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
	採泥機関		(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学
	分析機関		(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学
	天候		くもり	くもり	晴	晴
	水深	m	(0)	(0)	r n	rn
	<u> </u>	°C	19.2	16.8	18.2	18.0
	表層水温	°C	13.2	10.0	10.2	10.0
准尤	泥温	°C	15.0	13.6	19.2	20.0
測	<u> </u>		TO.0 エクマンバージ法	Tクマンバージ法	エクマンバージ法	ェクマンバージ法
項目	採取層		<u>エフマンハーン瓜</u> 0~5cm未満	<u>エフマンハーン仏</u> 0~5cm未満	<u>エフマンハーフム</u> 0~5cm未満	エフマンハ フ <u>ム</u> 0~5cm未満
目	外観		砂	砂礫	シルト	シルト・砂
	<u> </u>		黄褐色	緑褐色	黒緑色	黒緑色
	臭気1		なし	なし	なし	微版表
	臭気2					硫化水素臭
	pH	,	7.5	8.1	8.3	8.5
	COD		0.3	0.7	31.7	40.5
	強熱減量	%	0.4	0.7	11.1	10.7
		mg/g	<0.01	<0.01	0.21	0.23
目	含水率	%	21.8	9.8	60.4	55.3
	酸化還元電位	mV				
	銅	μ g/g	4.2	3.3	82	260
特	亜鉛	μ g/g	36	32	340	420
殊	鉄	$\mu\mathrm{g/g}$	4900	6200	36000	33000
項	マンガン	μ g/g	140	170	530	360
目	クロム	$\mu\mathrm{g/g}$	<4	<4	66	67
	ニッケル	$\mu\mathrm{g/g}$				
	カドミウム	μ g/g	0.10	0.07	1.18	0.85
加	鉛	μ g/g	5.2	3.2	111	117
健康	六価クロム	μ g/g	<2	<2	<2	<2
尿	砒素	μ g/g	0.6	1.0	10	7.7
項目	総水銀	μ g/g	<0.01	<0.01	2.07	3.88
l =	アルキル水銀	$\mu g/g$		<0.01	<0.01	<0.01
	PCB	$\mu g/g$		<0.01	<0.01	0.10
	アンモニア態窒素					
そ	亜硝酸態窒素	$\mu g/g$				
	硝酸態窒素	$\mu g/g$				
	有機態窒素	$\mu g/g$				
	全窒素	$\mu g/g$				
	<u>工工</u>	$\mu g/g$				
	全燐	$\mu g/g$				
	全有機炭素	μg/g mg/g				
	工日吸火术	111g/ g		l .	I.	

	測定地点コード		33000010	33000015	33000019	33000025
	採泥地点名 採泥年月日 採泥時分		呉地先33-10	呉地先33-15	呉地先33-19	呉地先33-25
			平成26年11月10日	平成26年11月10日	平成26年11月10日	平成26年11月10日
			11:54	11:40	10:51	10:40
	調査種類		<u> </u>	泥質検査	泥質検査	泥質検査
	測定機関		ル女人虽 呉市	<u> </u>	<u> </u>	儿女人虽 呉市
	採泥機関		(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学
	分析機関		(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学
	天候		晴	晴	晴	晴
	水深	m	*FI	FH	r n	rh
	<u> </u>	°C	17.7	17.7	17.5	18.1
	表層水温	°C	17.7	17.7	17.0	10.1
観	泥温	°C	20.0	19.8	19.5	19.4
測	<u> </u>	C	<u>20.0</u> エクマンバージ法	ェクマンバージ法	エクマンバージ法	エクマンバージ法
項目	採取層		<u>エクマンハーフ伝</u> 0~5cm未満	<u>エクマンハーフ法</u> 0~5cm未満	<u>エクマンハーフ法</u> 0~5cm未満	ユラマンハーン法 0~5cm未満
目	外観		シルト	シルト・砂	シルト・砂	シルト
	色相		灰緑色	黒緑色	黒緑色	黒緑色
	臭気1		なし	なし	なし	微 硫化水素臭
	臭気2		0.4			
	pH	,	8.4	8.8	8.3	8.4
	COD		29.3	13.8	42.3	23.9
	強熱減量	%	11.4	5.9	9.5	8.7
	総硫化物		0.28	0.13	0.68	0.58
H	含水率	%	58.1	38.0	43.5	51.5
	酸化還元電位	mV				
	銅	μ g/g	110	47	33	32
特	亜鉛	μ g/g	410	130	230	160
	鉄	μ g/g	38000	19000	26000	25000
項	マンガン	μ g/g	510	320	360	430
目	クロム	μ g/g	100	40	16	46
	ニッケル	$\mu\mathrm{g/g}$				
	カドミウム	μ g/g	1.16	0.51	0.83	0.86
∕\≠	鉛	μ g/g	127	24.1	33.6	34.1
健康	六価クロム	μ g/g	<2	<2	<2	<2
康 項	砒素	$\mu g/g$	11	3.8	6.7	6.3
目目	総水銀	μ g/g	3.92	0.21	0.12	0.15
l ⁼		μ g/g	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
1	PCB	$\mu g/g$	0.02	0.01	<0.01	<0.01
	アンモニア態窒素					
そ	亜硝酸態窒素	$\mu g/g$				
	硝酸態窒素	$\mu g/g$				
	有機態窒素	$\mu g/g$				
	全窒素	$\mu g/g$				
	<u></u>	$\mu g/g$				
	全燐	$\mu g/g$				
1	全有機炭素	mg/g				
	— 17 1/2////				l	

	測定地点コード		33000026	33000028	33000001	33000003
	採泥地点名 採泥年月日 採泥時分		呉地先33-26	呉地先33-28	呉地先33-1	呉地先33-3
			平成26年11月10日	平成26年11月10日	平成26年11月10日	平成26年11月10日
			10:35	10:23	13:07	12:32
	調査種類		泥質検査	泥質検査	泥質検査	泥質検査
	測定機関		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
	<u>积定限</u> 层 採泥機関		(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学
	<u> </u>		(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学	(株)日本総合科学
	天候		晴	晴	晴	晴
	<u>八八</u> 水深	m				
	気温	°C	17.9	16.8	18.7	18.4
	表層水温	°C				
性 兀	泥温	°C	19.3	20.0	19.4	19.8
炽	<u> 採取法</u>	-	エクマンバージ法	エクマンバージ法	エクマンバージ法	エクマンバージ法
炽	採取層		0~5cm未満	0~5cm未満	0~5cm未満	0~5cm未満
目	外観		シルト	シルト・砂	シルト・砂	シルト
	<u> </u>		黒緑色	黒緑色	灰緑色	灰緑色
	 臭気1		なし	なし	なし	なし
	久久! 臭気2		<i></i>	0.0	5-5	0.0
	рН		8.5	8.6	8.6	8.4
	COD	mg/g	21.6	16.8	12.3	45.3
般	強熱減量	%	8.5	6.8	3.9	11.1
	総硫化物		0.28	0.19	0.07	0.39
	含水率	%	52.7	43.3	27.2	55.1
	酸化還元電位	mV				
	銅	$\mu\mathrm{g/g}$	30	21	31	260
	亜鉛	μ g/g	160	120	180	510
	鉄		27000	20000	14000	37000
項	マンガン	μ g/g		340	470	570
目	クロム	$\mu\mathrm{g/g}$	52	49	18	56
	ニッケル	μ g/g				
	カドミウム	μ g/g	0.67	0.31	0.42	1.01
健	鉛	μ g/g		24.7	24.1	126
康	六価クロム	$\mu\mathrm{g/g}$		<2	<2	<2
ᄺ	砒素	$\mu\mathrm{g/g}$	7.7	4.5	2.5	6.8
日日	総水銀	$\mu\mathrm{g/g}$		0.12	0.20	1.57
-	アルキル水銀	$\mu\mathrm{g/g}$	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	PCB	$\mu\mathrm{g/g}$	<0.01	<0.01	0.20	0.06
	アンモニア態窒素					
	亜硝酸態窒素	μ g/g				
の	硝酸態窒素	μ g/g				
他	有機態窒素	μ g/g				
	全窒素	μ g/g				
	<u>燐酸態燐</u>	$\mu \mathrm{g/g}$				
目目	全燐	$\mu g/g$				
	全有機炭素	mg/g				

	測定地点コード	33000037	
	採泥地点名	呉地先33-37	
	採泥年月日	平成26年11月10日	
-	採泥時分	10:00	
	調査種類		
-	<u> </u>		<u> </u>
	測定機関		具市 (4) 日本 (4) A 31 **
	採泥機関		(株)日本総合科学
	分析機関		(株)日本総合科学
	天候		晴
	水深 気温	m	
	気温	°C	17.0
4 -0	表層水温 泥温	°C	
観	泥温	°C	20.2
測	採取法		ェクマンバージ法
項目	採取層		<u>エンベンバーン協</u> 0~5cm未満
目	外観		O・30m/木両
	グト115		シルト
	色相		灰緑色
	臭気1 臭気2		微
			硫化水素臭
	рН		8.6
<u> </u>	COD	mg/g	15.6
	強熱減量	%	7.8
項	総硫化物	mg/g	0.18
目	含水率	%	47.3
	酸化還元電位	mV	
	銅	μ g/g	22
特	亜鉛	$\mu g/g$	
	鉄	II g/g	22000
項	マンガン	$\mu g/g$	450
ΙÊ	クロム	$\mu g/g$	57
l ⁻	ニッケル	$\mu g/g$	
	カビミウ /	$\mu g/g$	
	がたいな 鉛 六価クロム	$\mu g/g$ $\mu g/g$	
健	六価クロム	$\mu g/g$	ZJ.Z /0
康項		$\mu g/g$	0.4
項	<u> </u>	$\mu g/g$	3.4
目	総水銀	$\mu g/g$	
	アルキル水銀	$\mu g/g$	
	PCB	$\mu g/g$	<0.01
	アンモニア態窒素		
そ	亜硝酸態窒素	μ g/g	
の	硝酸態窒素	μ g/g	
他	有機態窒素	μ g/g	
の	全窒素	$\mu g/g$	
項	燐酸態燐	$\mu g/g$	
目	全燐	$\mu g/g$	
1 -	全有機炭素	mg/g	
$\overline{}$	- 11 10000000		

	知中地上 い		2600001	2600000
	測定地点コード		36000001	36000002
	採泥地点名		備讃瀬戸1	備讃瀬戸2
	採泥年月日		平成26年9月9日	平成26年9月9日
	採泥時分		10:00	10:40
	調査種類		泥質検査	泥質検査
	測定機関		福山市	福山市
	採泥機関		中外テクノス(株)	中外テクノス(株)
	分析機関		中外テクノス(株)	中外テクノス(株)
	天候		晴	晴
	水深		14.7	17.0
	<u>小体</u> 気温	°C		
			27.6	27.8
観	表層水温	°C	26.9	27.3
測	泥温	$^{\circ}$	26.7	26.0
項	採取法		エクマンバージ法	エクマンバージ法
目目	採取層		0~5cm未満	0~5cm未満
	外観		シルト	シルト
	色相		灰黒色	灰黒色
	<u>臭気</u> 1		微	微
	臭気2		<u>凉</u> 硫化水素臭	硫化水素臭
			7.7	7.8
	pH	/		
фП.	COD	mg/g	19	20
	強熱減量	%	9.9	9.7
項	総硫化物	mg/g	0.50	0.82
目	含水率	%	56.9	54.5
	酸化還元電位	mV		
	銅	μ g/g	48	45
特	亜鉛	μ g/g	230	160
殊	鉄	$\mu g/g$	36000	38000
項	マンガン	$\mu g/g$	750	770
	クロム	$\mu g/g$		33
_	ニッケル	$\mu g/g$		25
	カドミウム	$\mu g/g$		0.52
	がてアムーーー 鉛	$\mu g/g$		34
健	<u> </u>	$\mu g/g$ $\mu g/g$		<2
康	<u>八価グロム</u> 砒素			9.2
項		$\mu g/g$		
目	総水銀	$\mu g/g$		0.12
1 -	アルキル水銀	$\mu g/g$		
$ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{eta}}}$	PCB	$\mu g/g$		0.01
	アンモニア態窒素	$\mu\mathrm{g/g}$	12	19
そ	亜硝酸態窒素	μ g/g	0.38	0.32
の	硝酸態窒素	μ g/g	2.3	2.2
	有機態窒素	$\mu g/g$		
<u>ල</u>	全窒素	$\mu g/g$		1800
項	<u>工工机</u> 燐酸態燐	$\mu g/g$		5.7
目	全燐	$\mu g/g$ $\mu g/g$		420
	全有機炭素		עדד∪	T4U
ldot	土竹陇火糸	mg/g		